

財産の状況

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、保有する全ての資産、負債、資本を表示したもので

す。次の表は、平成27年3月31日現在の水道事業の貸借対照表です。

貸借対照表

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	72億9,656万円	固定負債	40億9,272万円
有形固定資産 (建物・配水管・水道 メーターなど)	72億9,656万円	企業債	40億9,272万円
		流動負債	3億6,363万円
		企業債	2億6,614万円
		未払金	3,054万円
		前受金	7万円
		引当金	874万円
		その他流動負債	5,814万円
流動資産	6億7,406万円	繰延収益	7億4,390万円
預金現金	5億9,078万円	長期前受金	16億4,349万円
未収金(未納水道料金)	8,214万円	収益化累計額	△8億9,959万円
貯蔵品(棚卸し資産)	111万円	資本金	17億8,184万円
その他流動資産	3万円	剰余金	9億8,853万円
		資本剰余金(工事負担金など)	1,965万円
		利益剰余金(減積立金など)	9億6,888万円
資産合計	79億7,062万円	負債・資本合計	79億7,062万円

借入金金の状況

安定した水の供給を維持するためには、常に浄水場や配水管などの水道施設を整備しながら、これから施設更新時期を迎える水道施設を計画的に更新していく必要があります。

この整備には、多くの資金が必要になり、手持ちの資金だけでは賅うことができません。そこで、国などから資金を借り入れし、水道料金の一部を返済に充てています。水道事業では、この借入金を『企業債』と呼んでいます。

また、この借入金金は、財政的負担の軽減や、将来利用する市民にも公平に負担してもらうという目的も含め、長期の計画で返済しています。

貸借対照表に示したとおり、平成26年度末現在で、企業債の残高は43億5千886万円で、平成16年度以降減少を続けています。企業債を給水人口1人当たりで換算すると、8万8千51円になります。



水道施設整備の状況

平成26年度に実施した主な工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管などを布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。	4,348万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良(更新)工事を行いました。	6,914万円
送配水管移設工事	道道の工事などに伴い、配水管の移設工事を行いました。	1,555万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え(8年ごと)の工事を行いました。	3,051万円

水道事業の決算状況に関する問い合わせは

水道グループ

☎ 05 5501

FAX 05 5805

Eメール gyoumu@city.noboribetsu.lg.jp